

事業区分	地域主導型自然エネルギー推進事業 / 地域づくり協議会支援事業 (該当事業に○印)
事業主体 (連絡先)	株式会社アイ・コーポレーション 長野県岡谷市川岸東 1-4-23 電話番号 0266-24-0110
エネルギー 種別	木質バイオマスボイラーによる熱利用
内容区分	地域づくり協議会開催 / 導入可能性調査 / 計画策定 / 設計 / 設備機器導入
総事業費	2,700,000 円 (うち補助金額: 1,126,000 円)

事業内容

現在クリーニング工場で使っている洗物乾燥機の熱源である重油燃料蒸気式ボイラーの代替え熱源として地域木質燃料(剪定枝など)を使った木質バイオマス蒸気式ボイラーを計画し、その導入可能性調査として以下を調査いたしました。

1. 木質バイオマス燃料安定供給量
2. 木質バイオマス蒸気式ボイラーの機種候補選定

事業効果

今回、工場周辺地域で分別ごみとして扱われている剪定枝の賦存量(回収量)が明らかになり、自社では一民間企業を越え官民一体の協力的な組織で、さらなる積極的な調達努力の必要性が確認できました。

社内事前調査による暫定条件を満たせる機種候補の選定に臨みましたが、木質バイオマス蒸気式ボイラーは、大型プラント規模が主流で、工場内に設置でき、安定稼働する小型システムの機種数が皆無であり、所要蒸気量、規模共に過剰でした。詳細に至り燃料環境の適合性も付して行い結果的に木質バイオマス蒸気式ボイラーの導入可能性総合判定は、5段階中2のレベルでしたが、それに代わる改善案の機種として温水式機種が適切という結果を得ました。温水式は、小型機種数が多く国内での安定稼働実績があり、事業性に優位機種と確認できました。現計画の導入可能性判定、「否」も調査結果であり希望的観測で事業リスクを被る可能性の抑制ができたことや計画策定の方向性が分かり次の段階へつながる計画内容の充実度と確実性が増したことがこの調査の成果だと思っております。

今後の取組み

刷新計画案として、木質バイオマス燃料を自社利用する現計画案の代わりに、工場のクリーニング乾燥工程で出る排出熱で木質チップ(剪定枝等)を乾燥させ木質チップを燃料化することで、他施設の木質バイオマス事業への安定的な燃料供給をすることができる可能性が高く、地域の未利用材の有効利用の促進に繋がっていきたい。

注) 自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。



自己評価 (事業実施率) 【C】

【目標・ねらい】

1. 安定的な木質燃料調達量の把握
2. 適合候補機種の選定
3. 調達の仕組みづくりや官民共同体制整備
4. 現計画の実現可能に向けた課題の抽出と懸念事項のリスク回避

自己評価 (目標達成率) 【C】